

東京オリンピック 事前キャンプ 誘致が決定!!

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプを志摩市へ誘致するため、相手国は志摩市にゆかりのある「スペイン」とし、競技種目をトライアスロンとして誘致活動に取り組む中、ホストタウン登録も国へ申請していました。

6月28日、東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進本部から発表があり、志摩市がスペインを相手国とする「ホストタウン」に登録されました。

ホストタウンの推進について

～2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて～



内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局

そのため、今年度に視察とあわせて、東京オリンピック・テストイベント前の事前合宿を8月に浜島町で受け入れ、2020年の本大会・事前キャンプ地としても、協定を締結することができるよう、実行委員会を立ち上げて取り組んでいきます。

その費用として、6月定例会の最終日に一般会計補正予算、**オリンピック事前キャンプ誘致事業費 1,089万3,000円**が認められました。

スペインのトライアスロン選手を招き入れることで「伊勢志摩・里海トライアスロン大会」の認知度を向上させるとともに、今後の志摩市とスペインが、ホストタウンとして持続的な交流を行うことで、地域の活性化を目指していきます。

【参考】

「ホストタウン」とは、東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等の観点から、国の施策で**参加国と地域との相互交流を図る地方公共団体**を「ホストタウン」として全国各地に広げる取り組みです。

全国の「ホストタウン」総登録件数 = **323**件
 内、三重県のホストタウン登録件数 = **6**件
 (令和元年6月28日現在)

熊本県阿蘇市・長崎県壱岐市・大分県由布市へ行政視察

市議会、会派に所属する「フォーラム未来(3名)」と「自民党市議団(2名)」の議員で、(5月15日～5月17日)九州の3市に、志摩市が今年度から取り組む「温泉ガストロノミー・クワオルト推進や・SDGs未来都市と地方創生について」の行政視察を実施してきました。

1日目 — 阿蘇市役所において、**ONSEN・ガストロノミーツーリズム等、交流人口拡大への取り組みについて**、午後から約2時間、勉強会で研修させていただきました。

2日目 — 壱岐市テレワークセンターにおいて、午前中に、**壱岐市のSDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業と、地域おこし協力隊について**勉強会を、午後には、壱岐市しごとサポートセンターにおいて**イキビズ・「何でも仕事の相談にのります」**について、島内で一日かけて、約4時間の視察研修をさせていただきました。

3日目 — 由布市湯布院健康温泉館において、**クワオルトの推進等、交流人口拡大への取り組みについて**、午後から約2時間、視察研修をさせていただきました。

政務活動費を活用した今回の視察を終えて、

6月定例会におきまして、視察研修の結果を踏まえた**一般質問**を行ったところであります。

また、今回の行政視察には、資料提供を担当課よりしていただき、

6月18日には視察した5名が、担当課職員を交えて、**研修結果の報告会**を行いました。



《お礼》「第1回みなさんの想いを聞く会」

「第1回みなさんの想いを聞く会」を予定通り令和元年5月21日に開催し、18名の方に参加頂きました。

お忙しい中、ご参加頂きました皆様には感謝申し上げます。

また、ご都合が合わず参加できなかった皆様には次回お会いできれば幸いです。

ご参加の皆様からは、獣害対策・生涯学習講座の増加

・人口減少の歯止め・税金の有効な使い道・高い水道料金・観光客の減少・元気なシルバーパワーの活用・若者や子どもの住みやすい環境・議員の資質など、いろいろな想いを聞かせて頂きました。

今後、私なりに勉強し、「みなさんの想い」を市政に届けられるよう活動していきますので、今後ともご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。

